

セリ才便り

十一月号

- 2025 -

秋過ぎて冬来たるらし

ばやばやと朝しろたえのため息を吐く

俵 万智

アナスタシア・チョコレートコスモス・ビブルナムティナスの実・フヨウの実・ユーカリ

が格ごまげんソバはうか？ 屋敷村に覆われたような酷暑
の夏から駆け足で晩秋を迎えようとした。そんな中からもういかに
ニースが二つありました。一つ目はノール生理学・医学賞員を
坂口志文氏へ大阪大特任教授で米国のスウェーデン共同受賞員
でいた。御夫妻で記者会見では免疫学は人の病気に近い学問
で、出来るだけ早く人の治療に役立ちたいと語りました。
体の病気の予防に免疫システムの一つ「細胞」が体に害を与えない
よう過剰攻撃を抑制する役割を担う事を発見し「制御T細胞
と命を繋いだ。毒、教子さんとは同志として共に研究苦闘を
して来た」と語るお二人の笑顔は美しい夫婦愛に満ちて感動しま
した。ところがこの朗報は私にとり長い付き合いとなり肝臓の
自己免疫疾患・今も原因はわからず治療法のない難病指定と
いう事もあり明るい気持ちに育れたニースで「勿論様々な病気の
闘争も多岐にわたり希望のノール賞員でした。
さて二つ目は日本史上最初の女性首相誕生の高市早苗氏の登場
です。日本以上に世界が注目して毎日ワクワクが止まりません。
ハイスピード・ハードワークに取り組みられ睡眠の欠けとチャイニング笑顔
お疲れと根柢のふりかきかと思われまう。傾きかけている日本を
本気で立て直そうと勇気と実行力これこそ又最高にうれいニースで
した。少レやせたように見えまうの？ 休み時間もとる頂きたいもの
です。岡部前総理のこの年に決まらないうち警備を万全にし
て欲しいと願っています。全国的にクマ出沒の痕がう大変な数の
クマの事故にも皆持くれくれお気を付けず時節柄ご自愛の
上お返すこととさせていただきます。心より感謝を込めて。敬具。

俵セリ才



松本幸子

令和七年十一月吉日